

今月は、幼いころの夢を叶えた少女が主人公の伝記絵本を紹介します。

『どうぶつがすき』

パトリック・マクドネル／さく なかがわちひろ／やく あすなろ書房(2011年) ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

自然や動物が大好きで、好奇心旺盛な女の子ジェーンは、ぬいぐるみのチンパンジー、ジュビリーといつも一緒です。にわとりがどうやって卵を産むのか知りたくて、鶏小屋に忍び込み、糞をかぶって何時間も待ち続け、その瞬間を見ることができて喜んだり、木に登りそよ風に吹かれながら、ターザンの本を何度も読み、アフリカに想いを馳せます。

「いつかアフリカにすんで、たくさんの動物たちと仲良くなりたいな。」その想いを胸に温め続け、ついに・・・！！

<子どもに手渡す時のポイント>

親しみやすい絵で、動物学者ジェーン・グドールの少女時代が描かれています。そして最後のページはなんと、夢を叶え、成長したジェーンと赤ちゃんチンパンジーが見つめ合う写真！ジェーンを知らずに読み進めた子ども達も、このページでジェーンが実在の人物と分かり、驚きと共に、一気にジェーンに親しみと興味を抱くでしょう。巻末にはジェーンについての説明や、ジェーンから読者へのメッセージも載っており、ジェーンの活動を通して自然や動物、環境について、新たに興味を持つ子も多いかもしれません。ページのあちらこちらに装飾的な美しい図版がちりばめられているので、それらをゆっくり楽しみながら読み進めるのもおすすめです。

ジェーン著作の絵本や、ジェーンに関する伝記も他に出版されていますので、興味を持った子どもたちにぜひ手渡してみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。